



ワンパス・ヒッチ・キット

プロコア・プロセッサ

モデル番号09753-シリアル番号 280000001 以上

取り付け要領

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	リンク・ピン	2	サポート・フレームを取り付けます
	六角ナット	2	
	ワッシャ	2	
	サポート・アーム(右側)	1	
	サポート・アーム(左側)	1	
	ワッシャ	2	
	ジャム・ナット	4	
	リンチ・ピン	2	
	ヒッチ・クロス	1	
	ネジとボルト_2x2;	8	
	ワッシャ	16	
	ロックナット(1/2 in)	8	
	リンク・ピン	1	
	リンチ・ピン	1	
	リンク・ピン	1	
	リンチ・ピン	1	
	ピン・アセンブリ	1	
	ネジとボルト1_2x1-3_4;	4	
	ワッシャ	8	
	ロックナット(1/2 in)	4	
パイプ・スペーサ	4		
ピボット・ヒッチ	1		
ワッシャ	2		
ロックナット(1 in)	1		
2	牽引アーム(右側)	1	牽引アームを取り付けます
	牽引アーム(左側)	1	
	フラグ・ピン	2	
	ネジ(3/8 x 1-1/4 in)	2	
	フランジ・ナット	2	
	取り付けタブ	1	
	ネジ(1/2 x 2-1/4 in)	4	
	ワッシャ	8	
	ロックナット	4	
3	ヒッチ・ピン	2	コア・プロセッサをエアレータに取り付けます
	リンチ・ピン	2	

1

サポート・フレームを取り付ける

この作業に必要なパーツ

2	リンク・ピン
2	六角ナット
2	ワッシャ
1	サポート・アーム(右側)
1	サポート・アーム(左側)
2	ワッシャ
4	ジャム・ナット
2	リンチ・ピン
1	ヒッチ・クロス
8	ネジとボルト_2x2;
16	ワッシャ
8	ロックナット(1/2 in)
1	リンク・ピン
1	リンチ・ピン
1	リンク・ピン
1	リンチ・ピン
1	ピン・アセンブリ
4	ネジとボルト1_2x1-3_4;
8	ワッシャ
4	ロックナット(1/2 in)
4	パイプ・スペーサ
1	ピボット・ヒッチ
2	ワッシャ
1	ロックナット(1 in)

手順

注 エアレータがトラクタに取り付けられている場合には、エアレータを降下位置まで下ろし、トラクタから切り離してください。

1. 以下の要領で、リンク・ピンをサポート・アームに取り付ける：

A. 各リンク・ピンに六角ナットを取り付ける(図 1)。各リンク・ピンにワッシャを通す。

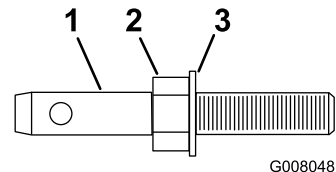


図 1

1. リンク・ピン
2. 六角ナット
3. ワッシャ

B. 以下の要領で、リンク・アームの取り付け位置を決定する：

- エアレータの下取り付けタブ間の距離が 52.7 cm から 57.5 cm の場合 (プロコア 660 や 880 エアレータの場合)、図 2 に示すように、取り付けタブが内側になるようにして、リンク・ピンをサポート・アームに取り付ける。

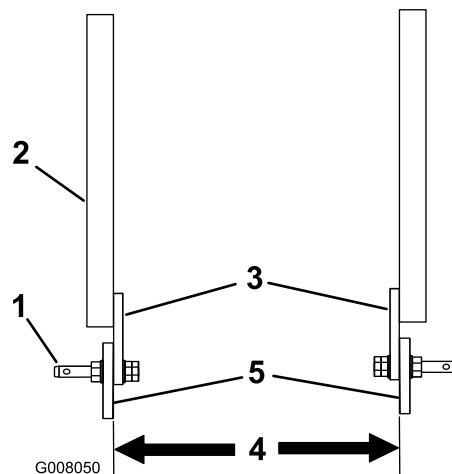


図 2

1. リンク・アセンブリ
2. サポート・アーム
3. 取り付けタブを内側に
4. 52.7 cm ~ 57.5 cm
5. エアレータ取り付けタブ

- エアレータの下取り付けタブ間の距離が 66.7 cm から 71.4 cm の場合 (プロコア 864 の場合)、図 3 に示すように、取り付けタブが外側になるようにして、リンク・ピンをサポート・アームに取り付ける。

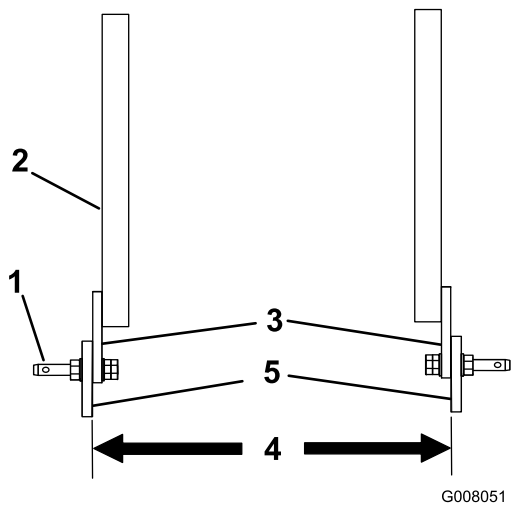


図 3

- | | |
|---------------|--------------------|
| 1. リンク・アセンブリ | 4. 66.7 cm~71.4 cm |
| 2. サポート・アーム | 5. エアレータ取り付けタブ |
| 3. 取り付けタブを外側に | |

C. ワッシャとジャムナット2個を使って、各サポート・アームとエアレータ取り付けタブにリンク・ピン・アセンブリを取り付ける (図 4)。

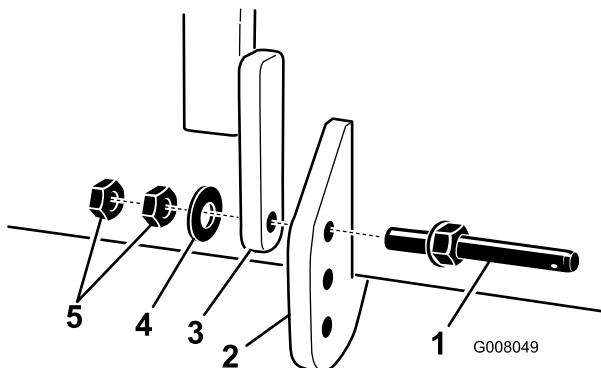


図 4

- | | |
|----------------|------------|
| 1. リンク・アセンブリ | 4. ワッシャ |
| 2. エアレータ取り付けタブ | 5. ジャム・ナット |
| 3. サポート・アーム | |

2. ネジ (1/2 x 4 in) 8本、ワッシャ16枚、ロックナット8個を使って、サポート・アームをヒッチ・クロスに仮止めする。取り付け位置は図 5を参照。

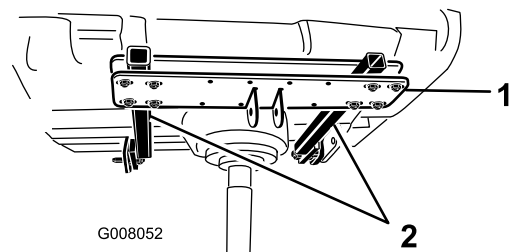


図 5

- | | |
|------------|-------------|
| 1. ヒッチ・クロス | 2. サポート・アーム |
|------------|-------------|

3. リンク・ピンとリンチ・ピンをつかって、下ヒッチ・クロスのタブをエアレータのブラケットに固定する (図 6)。

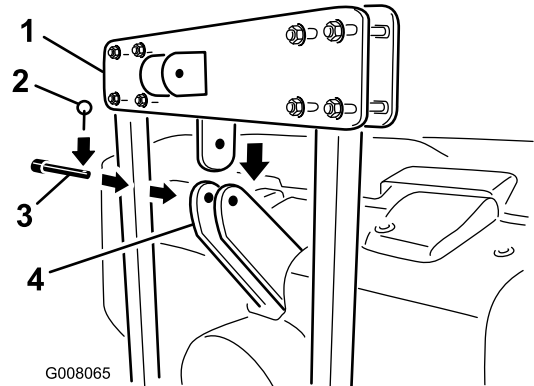


図 6

- | | |
|-------------|----------------|
| 1. 下ヒッチ・クロス | 3. リンチ・ピン |
| 2. リンク・ピン | 4. エアレータのブラケット |

4. ヒッチ・クロスをサポート・チューブに固定しているナットを締めつける。

5. リンク・ピンに左右の下リンク・アームを挿入してリンチ・ピンで固定する (図 7)。

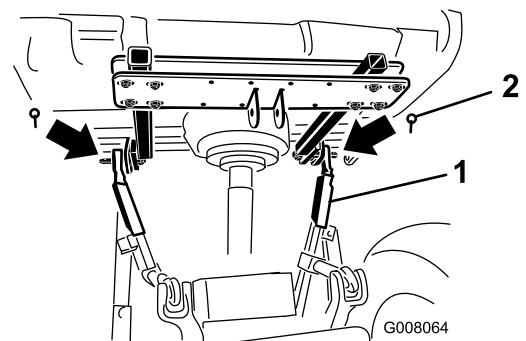


図 7

- | | |
|-------------|-----------|
| 1. 下リンク・アーム | 2. リンチ・ピン |
|-------------|-----------|

6. ヒッチの上リンクをヒッチ・クロスのタブに接続し、リンク・ピンとリンチ・ピンで固定する (図 8)。

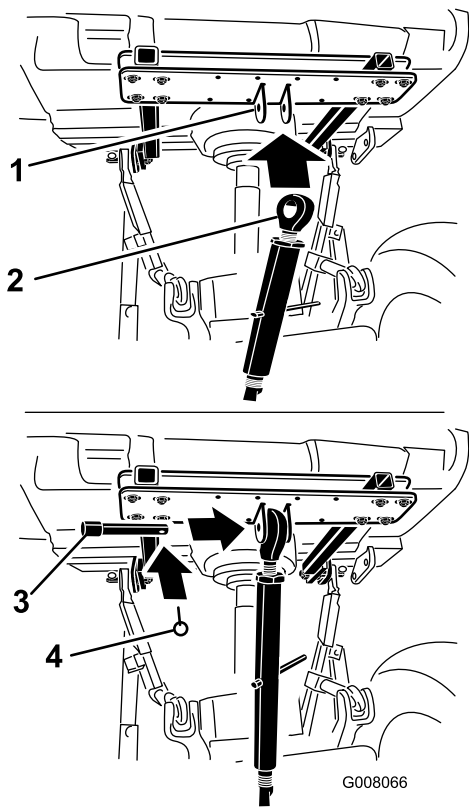


図 8

- | | |
|---------------|-----------|
| 1. ヒッチ・クロスのタブ | 3. リンク・ピン |
| 2. ヒッチの上リンク | 4. リンチ・ピン |

7. 調整リンクを回してリンクを締める (図 9)。締めすぎるとエアレータの後部が浮き上がってしまうので注意する。

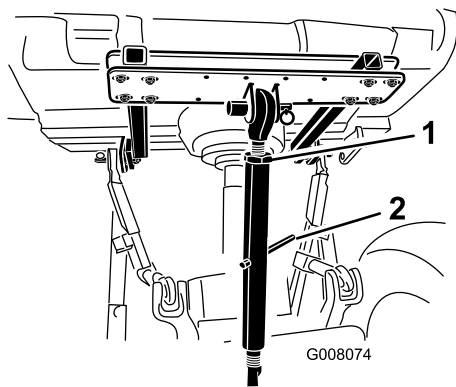


図 9

- | | |
|-----------|----------|
| 1. ロックナット | 2. 調整リンク |
|-----------|----------|

8. ロック・ナットを締めて上リンクの調整を固定する (図 9)。
 9. ネジ (1/2 x 1-3/4 in) 4本、ワッシャ 8枚、ロックナット 4個を使って、ピン・アセンブリをヒッチ・クロスの後部に取り付ける (図 10)。プロコア 880 と プロコア 864 の場合には中央の取り付け位置を使用し、

プロコア 660 の場合には、図 10に示すオフセット位置を使用する。

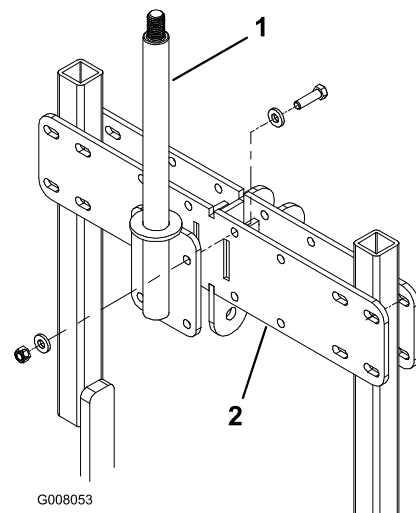


図 10

- | | |
|-------------|------------|
| 1. ピン・アセンブリ | 2. ヒッチ・クロス |
|-------------|------------|

10. ピン・アセンブリに、パイプ・スペーサとピボット・ヒッチを通す (図 11)。

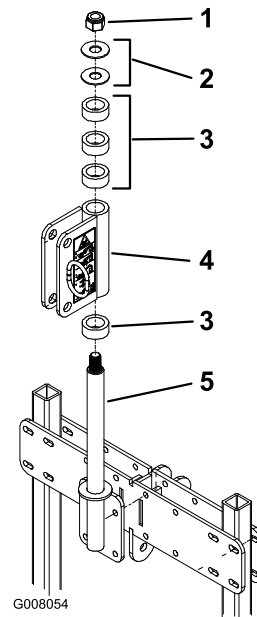


図 11

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. ロックナット | 4. ピボット・ヒッチ |
| 2. ワッシャ | 5. ピン・アセンブリ |
| 3. パイプ・スペーサ | |

11. ピン・アセンブリに、パイプ・スペーサ (3個) とワッシャ (2枚) を通す。このアセンブリを1in ナットで固定する (図 11)。

2

牽引アームを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	牽引アーム(右側)
1	牽引アーム(左側)
2	フラグ・ピン
2	ネジ(3/8 x 1-1/4 in)
2	フランジ・ナット
1	取り付けタブ
4	ネジ(1/2 x 2-1/4 in)
8	ワッシャ
4	ロックナット

手順

1. Mフラグ・ピンを使って、牽引アームを、コア・プロセッサの前部にある各タブに取り付ける(図 12)。ネジ(3/8 x 1-1/4 in)とフランジ・ナットを使って、フラグ・ピンを牽引アームに固定する。牽引アームは図 12のように組み付ける。

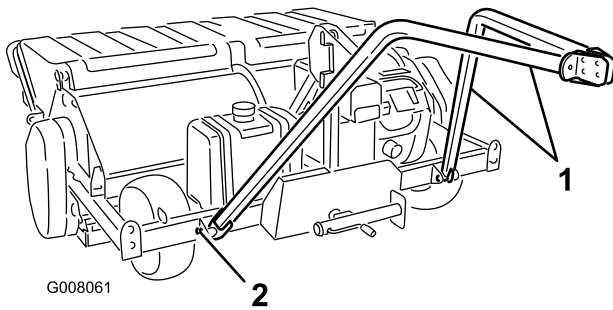


図 12

1. 牽引アーム
2. フラグ・ピン

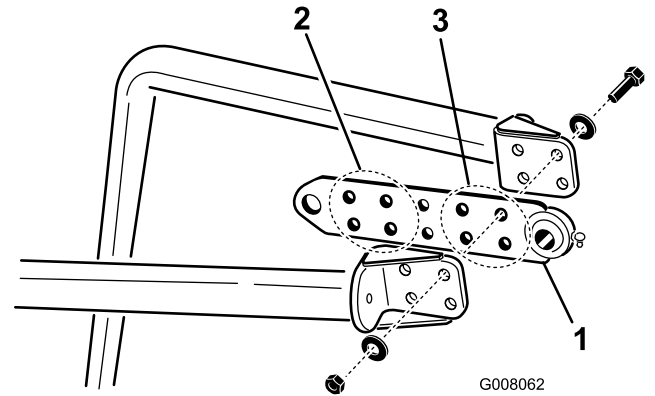


図 13

1. 取り付けタブ
2. 864 および 880 エアレータに使用する穴
3. 660 エアレータに使用する穴

3

コア・プロセッサをエアレータに取り付ける

この作業に必要なパーツ

2	ヒッチ・ピン
2	リンチ・ピン

手順

1. 牽引アームを持ち上げておき、積荷固定用のロープなどを使って、牽引アームのヒッチ・プレートをフレーム・ヒッチのピボットに固定する(図 14)。

2. ネジ(1/2 x 2-1/4 in) 4本、ワッシャ 8枚、ロックナット 4個を使って、取り付けタブを2本の牽引アームの前部の間に固定する。タブは図 13のように組み付ける。660 エアレータには前の穴を使用し、864 および 880 エアレータには後の穴を使用する。

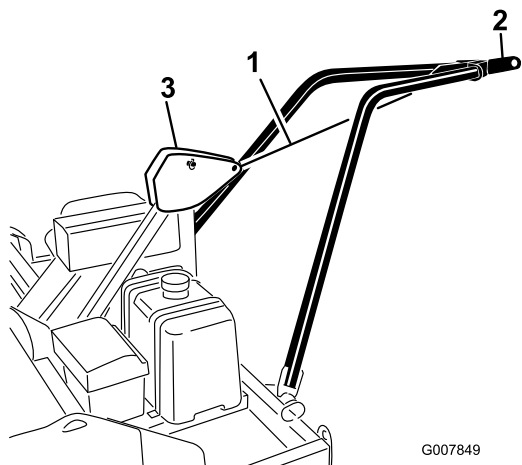


図 14

1. 積荷固定用のロープなど
2. 牽引アームのヒッチ・プレート
3. フレーム・ヒッチのピボット

2. トラクションユニットを後退させてコア・プロセッサの正面に停車する。
3. 積荷固定ロープなどで固定していた牽引アーム・ヒッチ・プレートを解き、エアレータのヒッチ・ピボットにセットする (図 15)。

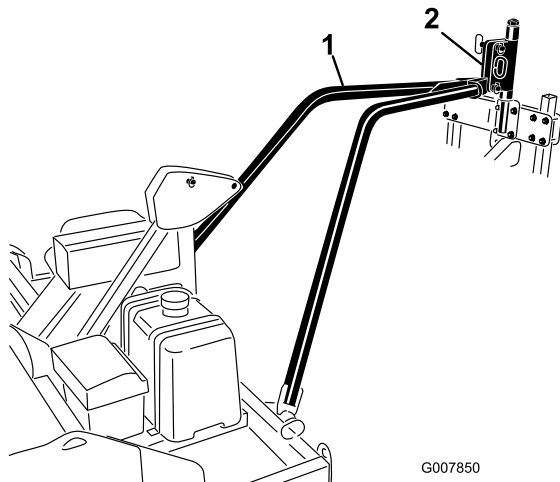


図 15

1. 牽引アームのヒッチ・プレート
2. エアレータ・ヒッチのピボット

4. 牽引アーム・ヒッチ・プレートの穴を、エアレータのヒッチ・ピボットの下側の穴に合わせる (図 16)。
5. ヒッチ・ピンとリンチ・ピンを使って、牽引アームのヒッチ・プレートを、エアレータのヒッチ・ピボットに固定する (図 16)。
6. エアレータを床面まで降下させる。
7. ヒッチ・ピンとリンチ・ピンを使って、ピッチ・コントロール・リンクを、エアレータのヒッチ・ピボットの上穴とフレーム・ヒッチ・ピボットに固定する (図 16)。

- ・ プロコア 660 エアレータの場合には、コントロール・リンクをフレーム・ヒッチ・ピボットの後穴に接続する。
- ・ プロコア 864 および880 エアレータの場合には、コントロール・リンクをフレーム・ヒッチ・ピボットの前穴に接続する。

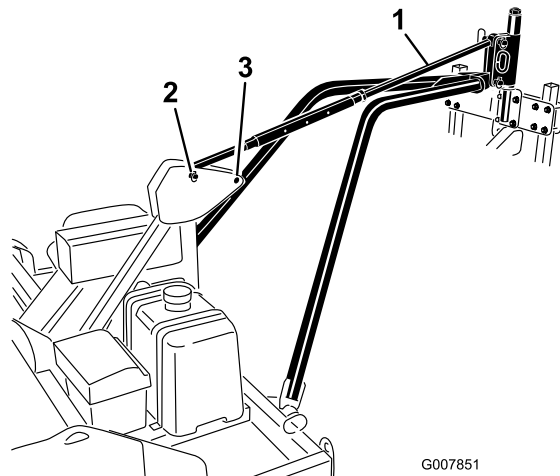


図 16

1. ピッチ・コントロール・リンク
2. 前取り付け穴
3. 後取り付け穴

8. 油圧ホースをトラクタ側に引き込み、クイック・カップラに接続する。油圧ホースが、プロセッサおよびトラクタに正しく接続されているのを確認すること。
9. コントロール・ハーネスを、トラクタの運転席に配置する。
10. 結束ひもを使って、油圧ホースとワイヤ・ハーネスを牽引アームに固定する。

重要 トラクタを左右に旋回させる際に油圧ホースに力がかかって接続がはずれたりホースが破損したりすることのないようにしてください。

メモ:



Toro 一般業務用機器の品質保証

2年間品質保証

保証条件および保証製品

Toro社およびその関連会社であるToro ワランティー社は、Toro社およびその関連会社であるToro ワランティー社は、両社の合意に基づき、Toro社の製品（「製品」と呼びます）の材質上または製造上の欠陥に対して、2年間または1500運転時間*のうちいずれか早く到達した時点までの品質保証を共同で実施いたします。この品質保証の対象となった場合には、弊社は無料で「製品」の修理を行います。この無償修理には、診断、作業工賃、部品代、運賃が含まれます。保証は「製品」が納品された時点から有効となります。

*アワー・メータを装備している機器に対して適用します。

保証請求の手続き

保証修理が必要だと思われる場合には、「製品」を納入した弊社代理店（ディストリビュータ又はディーラー）に対して、お客様から連絡をして頂くことが必要です。

連絡先がわからなかったり、保証内容や条件について疑問がある場合には、本社に直接お問い合わせください。

Toro Commercial Products Service Department
Toro Warranty Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420-1196
952-888-8801 or 800-982-2740
E-mail: commercial.service@toro.com

オーナーの責任

「製品」のオーナーは、オーナーズマニュアルに記載された整備や調整を実行する責任があります。これらの保守を怠った場合には、保証が受けられないことがあります。

保証の対象とならない場合

保証期間内であっても、すべての故障や不具合が保証の対象となるわけではありません。以下に挙げるものは、この保証の対象とはなりません。

- Toroの純正交換部品以外の部品や弊社が認めていないアクセサリ類を搭載して使用したことが原因で発生した故障や不具合。
- 必要な整備や調整を行わなかったことが原因で生じた故障や不具合。
- 運転上の過失、無謀運転など「製品」を著しく過酷な条件で使用したことが原因で生じた故障や不具合。
- 通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類。但しその部品に欠陥があった場合には保証の対象となります。通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類とは、ブレード、リール、ベッドナイフ、タイヤ、点火プラグ、キャストホイール、タイヤ、フィルタ、ベルト、スプレーヤーの一部構成機器たとえばダイヤフラム、ノズル、チェック・バルブなどを言います。

- 外的な要因によって生じた損害。外的な要因とは、天候、格納条件、汚染、弊社が認めていない冷却液や潤滑剤、添加剤の使用などが含まれます。
- 通常の使用にともなう「汚れや傷」。通常の使用に伴う「汚れや傷」とは、運転席のシート、機体の塗装、ステッカー類、窓などに発生する汚れや傷を含みます。

部品

定期整備に必要な部品類（「部品」）は、その部品の交換時期が到来するまで保証されます。

この保証によって取り外された部品は弊社の所有となります。部品やアセンブリを交換するか修理するかは判断は弊社が行います。場合により、弊社は部品の交換でなく再生による修理を行います。

その他

上記によって弊社代理店が行う無償修理が本保証のすべてとなります。

両社は、本製品の使用に伴って発生しうる間接的偶発的的结果的損害、例えば代替機材に要した費用、故障中の修理関連費用や装置不使用に伴う損失などについて何らの責も負うものではありません。両社の保証責任は上記の交換または修理に限らせていただきます。その他については、排気ガス関係の保証を除き、何らの明示的な保証もお約束するものではありません。商品性や用途適性についての黙示的内容についての保証も、本保証の有効期間中のみに限って適用されます。

米国内では、間接的偶発的損害にたいする免責を認めていない州があります。また黙示的な保証内容に対する有効期限の設定を認めていない州があります。従って、上記の内容が当てはまらない場合があります。

この保証により、お客様は一定の法的権利を付与されますが、国または地域によっては、お客様に上記以外の法的権利が存在する場合があります。

エンジン関係の保証について: 米国においては環境保護局 (EPA) やカリフォルニア州法 (CARB) で定められたエンジンの排ガス規制および排ガス規制保証があり、これらは本保証とは別個に適用されます。くわしくはエンジンメーカーのマニュアルをご参照ください。上に規定した期限は、排ガス浄化システムの保証には適用されません。くわしくは、エンジンマニュアルまたはエンジンメーカーからの書類に記載されている、エンジンの排ガス浄化システムの保証についての説明をご覧下さい。

米国とカナダ以外のお客様へ

米国またはカナダから輸出された製品の保証についてのお問い合わせは、お買いあげのToro社販売代理店（ディストリビュータまたはディーラー）へおたずねください。代理店の保証内容にご満足いただけない場合は輸入元にご相談ください。輸入元の対応にご満足頂けない場合は本社へ直接お問い合わせください。